

歯科材料 1 歯科用金属
管理医療機器 歯科用金銀パラジウム合金ろう 70776000
スーパーソルダー 25

【禁忌・禁止】

本合金又は類似成分の合金に対して発疹、皮膚炎などの過敏症の既往歴のある患者には使用しないこと。

【形状・構造及び原理等】

**該当規格：JIST 6107:2011「歯科用金銀パラジウム合金ろう」

形状：板状

成分・分量：

成分	分量
金	25 %
パラジウム	7 %
銀	37 %
銅	18 %
亜鉛	10 %
インジウム	3 %

原理：鑄造用金パラ合金や非鑄造用金パラ板をろう着するとき本製品を接合箇所加熱溶解し、被ろう着物を結合させる。

***性能：

試験方法：JIS T6119：1998「4.4.2 突き合わせろう付方法」

項目	参考データ
液相点（℃）	780
はく離強さ（MPa）	歯科鑄造用金銀パラジウム合金を用いた試験片の破断強さ：580

【使用目的又は効果】

主として歯科非鑄造用金銀パラジウム合金、歯科鑄造用金銀パラジウム合金のろう材に用いる。

****【使用方法等】**

- （1）ろう付けする合金にフラックスを塗布し、バーナーの還元炎を使って、通常の方法でろう付けします。
- （2）研磨は、通法により研磨します。
- （3）適用合金：歯科鑄造用金銀パラジウム合金（ツツミダスーパーハイキャスト 12、ツツミダマイルド DX 12 等）
- （4）フラックス：硼砂を水に解かして使用するか、ろう付け専用フラックスをご使用ください。

※操作上の注意※

- ① 加熱時は還元炎を使い、ろうを直接加熱せず鑄造体の余熱でろうを溶解するようにします。
- ② 鑄造合金と、ろうの液相点（℃）の温度差が 80℃以下の場合 はろう付け時に合金本体を溶かす原因になります。
- ③ ろうだけの加熱はかえって、ろう部分に巣が入る原因になります。

【使用方法に関連する使用上の注意】

- （1）ろう付け加熱時において、溶融したろう材及びフラックスから発生するヒュームを多量に吸うと目・鼻・のどの粘膜を刺激し、セキ・タン・胸痛・頭痛等の症状をきたし、気管支炎・肺炎をおこすことがあります。よって、ろう付け作業は換気・通風のよい部屋か局所排気装置を設置するか、保護マスクを着用のこと。作業終了後は必ず洗眼・うがいをおこなうこと。
- （2）歯科用フラックスを使用する場合には、その説明書に表示してある使用上の注意事項を守ること。

*****【使用上の注意】**

- （1）使用注意
他の合金と混溶しないこと。
- （2）不具合・有害事象
掌跖膿疱症、扁平苔癬、皮膚炎などの歯科金属疹（遅発性金属アレルギー疾患）を発症することがあります。
- （3）重要な基本的注意
本合金の使用により発疹、皮膚炎などの過敏症状があらわれた患者には、使用を中止し、医師の診断を受けさせること。

*****【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】**

製造販売元・製造元 堤田貴金属工業株式会社
電話番号 082-293-2233